

科目コード	R24232	科目名	老年期理学療法治療学				
履修区分	必修	開講期	3年前期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	藤井 紀文						
授業の概要	高齢者の特徴や、高齢者で問題となりやすい疾患・症状等を正しく理解し、適切な機能評価および治療方法を講義する。授業内での知識を踏まえ、臨床現場で遭遇する機会が多い問題や症例に対しての問題解決型演習（PBL）を行う。また、授業内には双方向アンケートを実施し、老年期の理学療法に関する学生の理解を深める。						
DPとの関連	慈愛ある豊かな人間性と人間を広い領域から捉える教養を身につけている						
	理学療法・作業療法を実践するための専門的知識・技術を身につけている						
	生命の尊厳や人間尊重を基本とする高い倫理観を持ち、自律して行動できる思考力や判断力を身につけている						
	理学療法士・作業療法士として課題を解決しようとする情熱と創意を持っている						
	地域社会・国際社会の一員として、専門職種と協働できる専門知識、コミュニケーション能力を身につけている						
2025年度以降の学則適用者のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください。 DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）=卒業までに身に付けるべき資質・能力							
到達目標	高齢者の特徴や、よく見られる症状・疾患について説明できる。注意すべきリスクをあげる事ができる。高齢者に対する理学療法を安全に行える。						
履修上の注意事項	配布資料は再配布しません。紛失した場合は、各自の責任において、他の学生からコピー等をしてもらってください。評価や治療など、実技を行う回があります。その際は事前に連絡をしますが、ジャージ等の動きやすい服装で受講してください。授業中の私語、携帯電話・スマートフォン・タブレット端末の使用は禁止します。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	高齢者の特徴（老年症候群、フレイル・サルコペニア、認知症など）				事前学習：教科書該当箇所の精読（30分） 事後学習：復習（60分）	
	2	高齢者の特徴（転倒、低栄養、尿失禁、摂食嚥下障害など）				事前学習：教科書該当箇所の精読（30分） 事後学習：復習（60分）	
	3	加齢に伴う心身機能変化				事前学習：教科書該当箇所の精読（30分） 事後学習：復習（60分）	
	4	高齢者の機能評価（身体機能、日常生活活動など）				事前学習：教科書該当箇所の精読（30分） 事後学習：復習（60分）	
	5	高齢者の機能評価（認知機能、精神・心理、QOLなど）				事前学習：教科書該当箇所の精読（30分） 事後学習：復習（60分）	
	6	高齢者に対する理学療法（筋力トレーニング、バランストレーニングなど）				事前学習：教科書該当箇所の精読（30分） 事後学習：復習（60分）	
	7	高齢者に対する理学療法（持久力・歩行トレーニング、身体活動促進に対するアプローチなど）				事前学習：教科書該当箇所の精読（30分） 事後学習：復習（60分）	
	8	高齢者に対する理学療法（転倒・骨折予防、認知症予防など）				事前学習：教科書該当箇所の精読（30分） 事後学習：復習（60分）	
成績評価方法	期末試験 100%。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	池添冬芽編・Crosslink理学療法学テキスト高齢者理学療法学（メジカルビュー）					978-4-7583-2008-5	
参考書							
教員からのメッセージ	分からない事は教科書、参考書で調べ質問してください。						
教員との連絡方法	藤井紀文：研究室204 メールアドレス n-fujii@hcu.ac.jp						
実務経験のある教員	藤井紀文：急性期～回復期、外来での理学療法診療経験や、研究領域である骨粗鬆症や転倒などの知見などを教育に活かします。						